

	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（国）	デジタル田園都市国家構想総合戦略（国）		第2期丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略
地域ビジョン	－	国の総合戦略で例示されているモデル地域ビジョンや重要施策分野も参考にしつつ、社会課題解決のため、地域の個性や魅力を生かした自らの地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築した上で、市の総合戦略を改訂する。 ○モデル地域ビジョンの例 ・スマートシティ・スーパーシティ ・「デジ活」中山間地域 ・大学を核とした産学官協創都市 ・S D G s 未来都市 ・脱炭素先行地域 ○重要施策分野の例 ・地域交通のり・デザイン ・地方創生スタートアップ ・地方創生テレワーク ・地方公共団体間の連携によるこども政策 ・教育D X ・住民に身近な場所を活用した遠隔医療 ・多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトなまちづくり ・観光D X ・デジタル技術を活用した地域防災力の向上 ・ドローン利活用 このほか、市が掲げている構想を参考とするなど、地域の実情に応じた様々な地域ビジョンが考えられる。		－
人口ビジョンの位置づけ	「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」に掲げている 2060 年の目標人口 1 億人を目標とし、令和 2 年度～令和 6 年度の 5 年間の取組をまとめている。	「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を踏まえ、その実施状況を検証するための数値目標等を設定する。		人口ビジョンに掲げている2060年の目標人口41,000人を目標とし、令和 2 年度～令和 6 年度の 5 年間の取組をまとめている。
計画（対象）期間	令和 2 年度～令和 6 年度	令和 5 年度～令和 9 年度 ※地域の実情に応じた期間を設定することも差し支えない。		令和 2 年度～令和 6 年度
目標・具体的な施策	①稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする ・地域資源・産業を活かした地域の競争力強化 ・専門人材の確保・育成 ・働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保	デジタルの力を活用した地方の社会課題解決	①地方に仕事をつくる ・スタートアップ・エコシステムの確立 ・中小・中堅企業D X ・スマート農林水産業・食品産業 ・観光D X ・地方大学を核としたイノベーション創出	基本目標① 希望が叶い、みんなで子育てを応援するまちをつくる 施策 1－1 結婚・出産・子育ての希望が叶うまちをつくる 施策 1－2 みんなで子育てを応援するまちをつくる
	②地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる ・地方移住の推進 ・若者の修学・就業による地方への定着の推進 ・関係人口の創出・拡大 ・地方への資金の流れの創出・拡大		②人の流れをつくる ・地方への移住・定住の推進「転職なき移住」の推進など地方への人材の還流 ・関係人口の創出・拡大等、二地域居住等の推進 ・地方大学・高校の魅力向上 ・女性や若者に選ばれる地域づくり	基本目標② 魅力的なしごと・多様な働き方・働きやすい職場をつくる 施策 2－1 魅力的なしごとをつくる 施策 2－2 多様な働き方・働きやすい職場をつくる
	③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・結婚・出産・子育ての支援 ・仕事と子育ての両立 ・地域の実情に応じた取組の推進		③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・デジタル技術の活用等による少子化対策の総合的な推進 ・結婚・出産・子育てへの支援 ・仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり ・こども政策におけるD X等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進	基本目標③ 地域の魅力や人のつながりを活かして、移住・定住につなげる 施策 3－1 人と人のつながりをつくる 施策 3－2 地域資源の魅力を活かす
	④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる ・質の高い暮らしのためのまちの機能の充実 ・地域資源を活かした個性あふれる地域の形成 ・安心して暮らすことができるまちづくり		④魅力的な地域をつくる ・デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成 ・教育D X ・医療・介護分野でのD X ・地域交通 ・物流・インフラD X ・多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトなまちづくり ・地域資源を生かした個性あふれる地域づくり ・防災・減災、国土強靱化の強化等による安心・安全な地域づくり ・地域コミュニティ機能の維持・強化	基本目標④ 好循環で元気なまちをつくる 施策 4－1 関係を結び、好循環を生み出す 施策 4－2 元気な地域が元気なまちをつくる